



袖浦の春の野菜 スナップエンドウ

～JAそでうらの春の野菜を紹介します～

そでうら管内の生産者は17名。平成20年から栽培を始め早いもので16年が経ちました。そでうら地区のスナップエンドウは11月～12月に畑に種をまきます。寒い冬を越えて春に満開の白いかわいい花を咲かせます。花が咲いてから2週間くらいで収穫を迎えます。

実が傷みやすいのも特徴でひとつひとつ手袋をしてはさみでカットし、傷つかないように収穫をしています。出荷は4月上旬から6月下旬まで続きます。主に仙台・横浜・東京方面へ出荷しています。スナップエンドウはシャキシャキとした触感、焼いてもよし、茹でて和え物にしてもよし、いろんな食べ方がある今が旬の野菜です。

ぜひそでうら産スナップエンドウたべてみてください。



生産者が丹精込めて作ったスナップエンドウは丁寧に箱に並べられて出荷となります。

「スナップエンドウーロメモ」

スナップエンドウは通常下茹でしてから料理に使います。軽く水洗いし硬いすじを取り除きます。少々塩を入れ沸騰したお湯で茹でます。茹で上がった後すぐに冷水にとり冷めます。茹で時間を短めにし食感と緑色を残すのが料理のコツです。

冷凍する場合は一度さっと塩茹でしたものを小分けにして冷凍します。しっかりと水気をきり重ならないようにするのがポイントです。1～2日くらいで食べ切るようにしましょう。



ちよつとおじゃまします

そでうら農業後継者にきく

農業後継者が減少している昨今、そでうらの農業を支える担い手を紹介していくコーナーです。今回はJAそでうら各種組織で役員を兼任されている坂野辺新田の星川大輔さんにお仕事の合間にお時間をいただきお話を伺いました。

Q.就農してからどれくらいになりますか。

高校を卒業し就職した年に父が亡くなり、農家の仕事が母一人になってしまい収穫作業も待ってくれない状況でしたので、すぐに就農しました。何もわからず失敗の連続で苦労しましたが、あれから22年になりました。

Q.何を主に作っていますか

アスパラガス・さといも・柿・花です。

Q.農業をしてきてやりがいは何ですか

手をかけて自分が作ったものを評価されることはとてもうれしく、やってきて良かったと感じるし、それがやりがいとなっています。

Q.休日の楽しみは何ですか

なかなか収穫時期の関係で長い休みというものがないのですが、冬の時期に家族と旅行に行くのがとても楽しみです。

Q.10年後はどうなっているでしょうか

今と変わらずアスパラガスをベースとして頑張っていると思います。今年から花については新しい品目に挑戦していくので、他の作物についてもこれからいろいろと挑戦したい思います。



若かりし時の失敗の連続が今の星川さんのものづくりに生きています。
”良い品質のものを作る” ”丁寧なものづくり”
一目置かれる存在となっているとても頼もしい大黒柱です。

農作業職業紹介

について



JAそでうらでは、農家や農業法人の労働力不足を補うために農作業のお手伝い、働いていただける方を無料で紹介する職業紹介を行っております。

JAそでうら
農業無料職業紹介所
厚生労働大臣許可
番号06-ム-300013

求人票の閲覧はJAそでうらHP・農作業職業紹介から見るができます。

お問い合わせ

営農販売部
担当 加賀
☎92-4760

そでうらHP QR

